

国際分野 第1章 国際政治の動向

1. 国際社会と国際法

【国際政治の成立】

_____の3要素

- ①. _____
- ②. _____ …… 「対外的に独立している」ということ
国内的には「国のあり方を最終的に決める力」
- ③. _____ …… _____、_____、_____からなる
領空……領土・領海の上空の大気圏内

領海……基線（≒海岸）から12海里（1海里 = 1852m）

接続水域……領海の外側12海里（基線から24海里）

公海ではあるが領海を守るための措置がとれる、とされている

_____（Exclusive Economic Zone、EEZ）……基線から_____海里
天然資源などに関する主権的権利・管轄権が及ぶ水域

_____ ……国家間の利益を調整し、紛争を未然に防いだり、平和的に解決する手段

【国際法の発達】

_____ ……外交・貿易に関する国際社会のルール

- ・ _____ ……国家間で締結された成文法
- ・ _____ ……各国の慣行の蓄積による不文法
 - ↳ 外交特権、公海自由の原則などは、現在は成文化されている。

【領土問題】

日本の領土……南鳥島（東端、東京都）、与那国島（西端、沖縄県）
沖ノ鳥島（南端、東京都）……数十センチの岩2つ
択捉島（北端、北海道）……実効支配できていない（北方領土）
実際は弁天島（宗谷岬沖1.2kmにある岩礁）

日本の領土問題

対ロシア（いわゆる_____） = _____、_____、_____、_____

第2次大戦後、ソ連が接收し、現在のロシア連邦が支配継続

対韓国……_____（1953年、韓国が実効支配開始）

対中国……_____ = ここは日本が実効支配している。

2. 国際的な人権保障と国際政治

【戦争の違法化の進展】

1928年 _____ (戦争の法規に関する条約) ……戦争を違法とする

1945年 国際連合憲章……武力の行使も禁止 (前文、および第2条)

ただし個別的・集団的自衛権の行使は認める

【国際的な人権保障の実現】

WWII、ナチス・ドイツによるユダヤ人虐殺などを受けて

人権保障は、国内問題ではなく、国際的な問題としてとらえられる

1948年 第3回国際連合総会にて採択

_____ 集団殺害罪の防止に関する条約 (_____)

1966年 _____ が国際連合総会で採択

・社会権規約 (A規約)

・自由権規約 (B規約)

この2つについて日本は1979年に批准

1966年 自由権規約に関する選択議定書

2008年 社会権規約に関する選択議定書

権利を侵害された個人が規約委員会に通報できる (個人通報制度)

1989年 自由権規約に関する第二選択議定書 (死刑廃止をめざす)

これら選択議定書については日本は批准していない

【国際政治の変化】

_____ ……国家間の紛争解決のために設置

1899 オランダのハーグに設置された国際仲裁裁判所が前身

_____ ……個人の犯罪を裁く (2003年、ハーグ)

_____ (_____) ……各国政府・国際組織に働きかけ

政治犯釈放の要求、環境問題・人権擁護・軍縮のための条約作成

3. 国際連合と国際協力

【国際連盟】

1920年 _____ 発足 (League of Nations) ……スイス、ジュネーヴに本部
第一次世界大戦後、アメリカの _____ 大統領の提唱
常任理事国……イギリス、フランス、イタリア、日本
議決は全会一致制、制裁措置は経済制裁のみ

アメリカは不参加、敗戦国ドイツ・社会主義国ソ連は遅れて参加
→世界恐慌後、日本・ドイツ・イタリアが脱退。WWII 勃発後、ソ連除名。

【国際連合】

1945年 _____ 採択
_____ 発足 (United Nations) ……アメリカ、ニューヨークに本部

- ①. 総会 ……最高議決機関、1国1票
- ②. 事務局……その統括者 _____
- ③. _____
常任理事国…… _____ を持つ5大国

_____、 _____、 _____、 _____、 _____

※「 _____ の原則」によって _____ に実効性を持たせる」と
書かれているが、実際はそうになっていない！
5大国の拒否権発動で何も決まらないことのほうが多い。

- ・ 国連の _____ (_____) ……国連憲章で想定されていなかった方式
紛争が“停戦合意”状態にあることを前提に
軽装備の軍隊や文民が平和維持・社会再建に参加する
(しかし停戦が守られていないこともしばしば)

- ④. 信託統治理事会……1994年、最後の信託統治地域パラオが独立して業務終了
- ⑤. 国際司法裁判所
- ⑥. _____ ……その下に多くの専門機関
 - ・ 国際労働機関 (_____)
 - ・ 世界保健機関 (_____)
 - ・ 国際通貨基金 (_____)
 - ・ 世界貿易機関 (_____)
 - ・ 国連難民高等弁務官事務所 (_____)
 - ・ 国連教育科学文化機関 (_____)
 - ・ 国連児童基金 (_____)
 - ・ 国際復興開発銀行 (_____)
 - ・ 国連貿易開発会議 (_____)

国際分野 第2章. 国際経済の動向と国際協力

2. 外国為替市場のしくみ

【外国為替市場と為替レート】

- ・ _____ ……通貨の異なる国際間の支払い・受け取りを、
金融機関の間の手形（**外国為替手形**）決済に振り替える方法
- ・ _____ ……外国間の通貨と通貨の交換比率のこと
- ・ _____ 制

「1ドル＝120円」から「1ドル＝100円」になる → 「_____」になる
1ドルという商品が120円から100円に値下がりした = ドルが安くなった
つまり円高ドル安だと、日本にとってアメリカからの輸入品が安くなる

「1ドル＝100円」から「1ドル＝120円」になる → 「_____」になる
円安ドル高だと、アメリカ人にとって日本旅行が安くてできる

円高と円安、どちらが良いかは、それぞれの立場によって異なる
輸入業者は円高が有利、輸入業者・観光業者にとっては円安のほうが有利

※為替レートは、原則として通貨を発行する国の経済力に比例している

世界恐慌前は、「金本位制」だった（金を仲立ちとして各国通貨を交換）



固定為替相場制……WWII直後、崩壊していた国際貿易を再建するために
国際連合の専門機関である国際通貨基金(IMF)が定めたルール
金と交換できるアメリカ合衆国のドルを基軸通貨とする
金1オンス(28.3g)＝35ドル、1ドル＝360円

終戦直後は、アメリカ合衆国だけが圧倒的に強い経済力を持っていた。

→やがて他の国々も復興してくると、固定為替相場制はアメリカの負担になる。

1973年 **変動相場制**に移行……日々、各国通貨の交換比率が変化する

その後もしばらくの間は、1ドル＝250円前後で推移

1980前後の頃、**日米貿易摩擦**……日本にとっては対米貿易の大幅黒字
日本製自動車がアメリカで安く売れるのは円安ドル高だったから

1985年 **プラザ合意**……G5会議でドル高を是正する合意

→すると、一気に1ドル＝150円ぐらいまで急激な円高に

すると日本は、「輸出が伸び悩み不況になる」と予想して、不景気対策をとった。

しかし、実際は円高不況はそれほどでもなく、逆に80年代後半は「バブル景気」に
90年代に入り「バブル崩壊(＝恐慌)」、という経緯をたどった。